

令和6年度第2回大和市社会教育委員会議定例会（第33期） 会議録

会議名（審議会等の名称）		令和6年度第2回大和市社会教育委員会議定例会（第33期）
開催日時		令和6年7月1日（月曜日）午後3時00分～午後4時50分
開催場所		文化創造拠点シリウス6階 生涯学習センター601講習室
出席状況	委員	11人：伊藤（仁）委員、伊藤（能）委員、大川委員、小早川委員、小森委員、齋藤委員、中村委員、中山委員、長谷部委員、藤倉委員、丸田委員
	関係各課	4人：文化振興課長、図書・学び交流課長、スポーツ課長、こども・青少年課長
	事務局	3人：文化スポーツ部図書・学び交流課学び交流係長、同係員2人 学び交流係（046-259-6104）
	傍聴人数	0人
公開・非公開の状況		☒ 公開 ☐ 非公開 ☐ 一部非公開
非公開・一部非公開の場合はその理由		
審議又は検討経過及び結果		1 会議次第 （1）あいさつ （2）協議事項 1）点検・評価シート（2）大和市生涯学習推進計画について（教育委員会所管分） 2）大和市生涯学習推進計画について 3）令和6年度社会教育委員に関する研修会等について （3）その他 2 審議及び結果 主な内容は次のとおり <開会> <協議事項> 「1）点検・評価シート（2）健康都市やまとMANABI計画について（教育委員会所管分）」の施策目標1～3について、図書・学び交流課長より説明。（施策目標ごとに、委員からご意見） （議長）施策目標1の説明について、ご質問やご意見はあるか。 （委員）昨年度はスポーツセンターで卓球のTリーグをしていて、とても人が入っていた。バレーボールやバスケットボールのリーグの誘致は考えていないのか。 （市）トップスポーツ観戦デーについて、2024年度はBリーグの開催を予定している。カテゴリーが下のチームだが、湘南にあるチームを招く予定である。 （委員）17ページ、健康に関する講座等の延べ参加者数について、最終目標値141人に対し、計画初年度から大きく上回っているが、目標値として適切だったのか。 （市）計画策定時の2017年度の125人を元に目標値を設定している。本市は健康都市ということで、健康に関する講座に力を入れたこともあり、昨年度は800人まで伸びている。

- (委 員) 健康に関する講座の参加者が増えているというのは、健康に関心を持つ人が増えているということだと思うので、今後もっと増えていくのではないかなと思う。20 ページ、歴史文化施設の利用者数について、計画策定時は 54,443 人だが、その後の推移を見ると年々減ってきている。コロナ以外にも何か要因があるのか。もっと歴史に関心をもってもらえるような取り組みをしてもよいのではないかな。
- (市) 歴史文化施設は、泉の森にある「郷土民家園」、つきみ野の「つる舞の里歴史資料館」、「下鶴間ふるさと館」の 3 施設である。それぞれの利用者の内訳は、郷土民家園が約 29,000 人、その他 2 施設が 3,000~4,000 人である。利用者数減の傾向については、泉の森の来場者数自体が減っているという状況が挙げられる。泉の森の来場者数が減っている理由としては、ゆとりの森や大和公園などの大型公園施設が近年オープンやリニューアルをしているため、公園の来場者が分散しているのではないかと推測している。ご指摘のとおり、歴史文化施設はそれだけを目的として行くというのは中々難しく、気軽に行けるとか、立ち寄るというようなアプローチが必要だと考えている。文化財保護審議会では、案内板をもう少し分かりやすいように作ればよいのではないかなとか、郷土民家園で育てた野菜をうまく使ってイベントができないかなというような話が出ている。泉の森自体の魅力が高まればよいという部分もあるが、郷土民家園自体の魅力が高まるようなことを考えていきたい。
- (委 員) 最近泉の森に蛍がいなくなってしまったようだ。
- (市) 本来、蛍がいる場所というのは人があまり立ち入らない方がよいのだが、そこに勝手に入って蛍を無断で持ち帰ってしまうということが散見され、泉の森の管理者が蛍の取り組みについては現在控えている状況と聞いている。
- (委 員) 他の新しい公園は遊具施設だと思うが、泉の森の価値は違ったところにあると思う。
- (委 員) 泉の森自体が最近寂れている。もう少しきれいになればいいと思う。昔に比べると手入れが行き届いていないように感じる。
- (委 員) 17 ページ、健康に関する講座等の延べ参加者数が増えているが、事業数は増えていない。参加者数が増えた要因は何か。
- (市) ポラリスでは、ポラリス健康体操を実施しているが、講座の回数が増えたこと、また参加される人数も多いため、この事業だけで約 400 人の延べ参加者数となっている。事業数は変わっていないが、講座の回数が増えたということが、延べ参加者数が増えた要因と考えている。
- (市) ポラリス健康体操は 1 事業で 17 回講座を開催しているため、延べ参加者数として見ると、かなり増加している。
- (委 員) 人数が増えているのに評価が B は少し寂しい。
- (委 員) 達成度の基準をどこに置いているのかを聞きたい。個人的にはもっと A があってもいいのではないかなという印象である。
- (市) 評価方法については、成果指標の最終目標値を達成するために、

現在どの程度の数値になっているかで判断をしている。一例として、年2%ずつ増加することを目標に設定している場合は、計画初年度から2%ずつ上昇していき、令和5年度時点で想定される数値に対し、実績値がかなり下回っていればC、同程度であればB、上回っていればAというように機械的に判断している。

- (市) 委員のおっしゃるとおり、前年度から大幅に改善されている部分については気持ちとしてはAを付けたいが、最終目標値に向けて基本的には年々一定の率で上がっていくという想定で見ている。
- (委員) 最終目標値は、例えば計画策定前の5年間の平均を基準として目標値を設定しているのではなく、2017年度のみ数値を基準として目標値設定しているということか。
- (市) 基本的に2017年度の数値を現状値として、2024年度の最終目標値を設定している。
- (市) 2017年度頃については、シリウスが前年に完成したばかりで、他の学習センターは市の直営であった。その後、全ての学習センターで指定管理となり、講座のやり方が変わっている。そのため計画策定時に考えていた目標値の想定とは状況が変わっているため、目標値と実績値が乖離するという指標もあるのだと思う。現在は全ての学習センターが指定管理になっているため、次期計画の策定にあたり、その乖離は出ないと思う。他の計画もそうだが、コロナなど不測の事態により途端に実績値が変わってしまうことがあるので、最終目標値自体にこだわるということがよいのかどうかということについては検証が必要と思う。

施策目標2について、事務局より説明。

- (委員) 24 ページ、学習に関する相談件数について、2023 年度は 6,850 件となっており、前年度と比較して倍近く増加しているが、なぜこんなに増えているのか。
- (市) 昨年度は新型コロナウイルス感染症が5類に移行したということで、世の中で安心感が広まり学習の意欲が高まったということが大きいのではないかと捉えている。
- (委員) 23 ページ、図書館の蔵書数について、計画的に蔵書数を増やしていくということで目標値を設定していると思うが、2024 年度は最終目標値 686,000 に届くのか。
- (市) そのように計画している。
- (委員) 28 ページ、交流機会創出のための支援については、全体的に少しずつ数値が上がってきていると思う。活動指標の学習団体による講座等の広報回数については増えていないが、その他の数値は増えているのにC評価は厳しいのではないか。
- (委員) この項目については、自主性が求められる部分があるので、なかなかコントロールが効きにくい。そもそもの期待値が高すぎるのではないか。C評価は厳しいのではないかと思う。
- (委員) 自分も学びの輪支援事業を活用しているが、最近は本当に参加人数が増えてきている。他館にも広報していただいているおかげなのか、他館の地域から参加して下さる方もいる。今後もっと参加

者数は増加していくと思うので、C評価は厳しいと思う。

(市) 事務局としては、目指す姿としての成果指標と、それを実現するためにどういったことを具体的にしていくかの活動指標の２段階構えで捉えている。数値としては改善されているものもあるが、目指す姿として捉えた時、成果指標が最終目標値に至っていないというところでC評価としたが、委員の皆様からの温かいご意見を頂いたので、ご意見を踏まえて再検討したい。

(委 員) 28 ページ、今後の課題の中で、異なる地域を活動拠点とする団体間の交流を活性化させ、新たな繋がりを生み出すための取り組みを充実させることが必要とあるが、まさにこういったことが必要だと思う。すでに実施している具体的な取り組みや、今後取り組んでいく予定の取り組みがあればお聞きしたい。

(市) 今年度の学習センターまつりでは、他の地域から招待し、それぞれの地域の様子を見ていただく機会を創出したいと考えている。

(委 員) 団体間で交流し、お互いのノウハウを教え合うことができるような場を創出していくと活性化すると思う。そのような取り組みはある程度行政が引っ張っていく必要があるのではないかなと思う。

(市) 前向きに検討させていただく。

(委 員) 26 ページ、読み聞かせボランティア養成講座について、参加者数が増えてきているのはよいことである。コロナ禍は活動することができなかったが、最近は「絵本の会」や「お話の会」に入会する方が増えてきた。養成講座は今後も続けていただきたい。

施策目標3について、事務局より説明。

(委 員) つきみ野学習センターのリニューアル後、利用者が増えたなどの変化はあるか。

(市) つきみ野学習センターが休館したことにより、活動拠点を移した団体もいるが、リニューアルされたことを契機に様々な取り組みをしているので、今後利用者は増えていくと考えている。

(委 員) ギャラリーもリニューアルされたと思うが、活用されているか。

(市) ギャラリーの活用状況については詳しく把握していないが、施設内の階段の飾り棚や廊下などに活動団体が制作した作品を数多く展示していることは確認している。

(委 員) せっかくリニューアルしたので、うまく活用していただきたい。

(委 員) 特別教室開放の利用者が2023年度は14,076人に増加してすごいと思った。最近はどのような教室の使用が多いか。

(市) 音楽室の使用が多い印象である。

(委 員) 特別教室は9校ということだが、小・中学校それぞれ何校か。

(市) 小学校5校、中学校4校である。

(委 員) 特別教室開放については、利用者数ではなく、稼働率を指標としてみるのもよいのではないかな。

(市) 次期計画については、その点も考慮して検討したい。

(議 長) 他にご意見が無ければ、今年度の点検評価について、承認してよいか。

(一 同) 異議なし。

～休憩～（関係各課退席）

～再開～

「２）大和市生涯学習推進計画」について、事務局より説明。

（議 長）事務局からの説明について、ご質問やご意見はあるか。

（委 員）新規の施策の内容について、家庭教育を支援する学習機会の提供という項目が入っているのがとてもよいと思う。ただし、生涯各期に合わせた学習機会の提供の中の、乳幼児期に対応する学習機会の提供との、すみ分けをする必要がある。乳幼時期に対応する学習機会の提供は乳幼児を対象としているのか、そこに親も含むのか、そうではなく親に対する学習機会の提供については家庭教育を支援する学習機会の提供に入れるのかというのを明確にする必要がある。幼稚園で勤務しているが、今の親は子育てに対して悩まれている方が多いと常日頃感じている。最近は子どもとの愛着関係が築けない親や、子どもをどう躱ければいいのか分からないという親が多くいる。保育士が子どもの様子について親に話すと、どうすればいいのかという反応をする方もいて、子育てについて寄り添って考えていかないと身動きが取れなくなってしまう親が多くなっていると。そのような方に対し、家庭教育を支援する学習機会を提供していく必要性を感じている。

（委 員）昨年、提言書を教育委員会に提出し、早速計画に反映していただきありがたい。家庭教育支援については、保護者が抱える課題をどう把握していくかということが必要である。地域の団体が地域で子どもを守るということも家庭教育支援になるので、社会教育関係団体等への働きかけも行っていたいただければと思う。そのためには、社会教育主事・社会教育士の活躍を期待したい。社会教育主事・社会教育士はまだまだ市民には馴染みが薄いので、各団体の総会などで教育長、部長、課長が挨拶をされる際に社会教育主事・社会教育士について周知していただければと思う。

（委 員）新規の施策の内容については、特に重点的に取り組んでいただきたい。また、評価の方法についてだが、Ｂプラス、Ｃプラスなどより細かく分けた方が分かりやすいのではないかなと思う。コロナは緩和されてきているが、まだまだ人がいるところに行くのは控えようという意識の方がかなりいる中での実績値なので、かなり健闘されていると思う。評価方法についても検討していただきたい。

（委 員）家庭教育支援や、やまと子ども伝統文化塾については、既存の取り組みについてすみ分けをするのか、それとも新たな取り組みとして始めるものかどちらか。

（ 市 ）基本は既存の取り組みである。市内学習センターは指定管理者が管理しているということで、本市の作成した仕様書に基づいて運用していただいている。仕様については、取り組みを増やしていけばいくほど人件費等に反映するものであるため、今後計画に基づいて増やすものと減らすもののバランスを見て、仕様の内容を

決定することによって目標値を達成できるような仕様書にしていきたい。

(委員) 仕様書に家庭教育支援の項目が入っているということか。

(市) 家庭教育支援については現在仕様書に入っていないが、新たに追加する必要があると考えている。

(委員) それは指定管理者に対してこのような講座をするようにと指示ができるということか。

(市) 令和8年度に指定管理の更新があるので、そのタイミングで仕様書に反映させることは可能である。

(委員) 家庭教育学級などの講座に参加する人は子育てに前向きな人ばかりである。地域の活動と連携が取れないものか。

(委員) 提言書の作成にあたり根底にあるのは、各家庭のみでは子育てが難しい状況であるということを前提に、地域で子どもを育てているということである。一例として、活性化会議では地域の子ども達を集めて様々なことをしている。その活動は家庭教育支援にもなっているため、そのような団体を盛り上げていくような講座を開いていくということも提言書の内容にある。是非これからの施策に活かしていただきたい。また、他の自治体の生涯学習推進計画で社会教育主事・社会教育士を表に出しているケースはほとんどないと思う。このように表に出していただきありがたい。大和市はこうに考えているということが、他の市町村にも伝わっていくと思う。

(議長) 他に意見が無ければ、次期計画の大枠としてはこのような形で、引き続き事務局に計画の作成を進めていただいてよいか。

(一同) 異議なし。

「3) 令和6年度社会教育委員に関する研修会等」について、事務局より研修会等の今後の日程について報告。

(議長) 来年度は関東甲信越静社会教育研究大会神奈川大会が開催される。今年度から実行委員会が組織され、大和市は広報部会に入っている。7月11日に会議が行われる予定である。今後、委員の皆さんに協力をお願いすることがあるかもしれない。他にご意見等が無ければ、本日の協議事項は以上である。次回会議の日程について事務局より説明をお願いしたい。

(市) 大和市生涯学習推進計画について、本日頂いたご意見を踏まえて7月中に計画案を作成する予定である。その上で、8月に臨時会を開催し、内容の確認をしていただきたいと考えている。

① 8月13日(火) 午後3時から

② 8月14日(水) 午後3時から

以上の候補日から選んでいただきたい。

(議長) 13日は1名欠席、14日は2名欠席のため、8月13日に決定してよいか。(会議終了後、13日の会議は全員出席となる)

(一同) 異議なし。

以上で議事を終わる。

	<閉会>
会議資料	・ 令和6年度第2回社会教育委員会議定例会（第33期）次第 ・ 第33期大和市社会教育委員名簿 ・ 点検・評価シート（2）健康都市やまと MANABI 計画（教育委員会所管分） ・ 大和市生涯学習推進計画（案） ・ 令和6年度社会教育委員に関する研修会等